

事務事業評価調書

事務事業名	千里山駅周辺整備事業				
担当部名	土木部	室課名	地域整備推進室	室課長名	福田 徹二

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成17年度	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	社会資本整備総合交付金交付要綱							
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章 06	安全で魅力的なまちづくり	節 02	細節 13				
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		範囲等	公共施設利用者						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	千里山団地等の建替えに合わせ、都市計画道路等の公共施設整備を行い、交通混雑の解消、生活利便性の向上を図る。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	良好な市街地形成							
(7)	事業概要	千里山駅周辺整備事業は①踏切の安全性②駅前都市機能の不足③都市計画道路の未整備④千里山団地の老朽化という地域課題を解消するため、踏切を自動車通行禁止とし、振替道路である千里山跨線橋線を整備するとともに、駅周辺公共施設を整備するものです。駅東側においては、都市再生機構の直接施行制度により、都市計画道路千里山佐井寺線、千里山跨線橋線、駅前交通広場等の整備を、千里山団地の建替えと総合的、一体的に行い、駅西側では駅アクセス道路の歩道整備等を行います。							
(8)	H28事業別 予算コード	会計 01	款 08	項 05	目 11	大事業 01	中事業 01	小事業 01	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		473,160	217,348	284,195	202,665	177,187	
		人件費	職員数	人	5.00	4.00	3.00	3.00	3.00
			総額(B)	千円	41,760	32,156	24,510	23,700	24,156
		総事業費(A+B)		514,920	249,504	308,705	226,365	201,343	
		特定財源(C)		25,570	20,224	55,607	34,644	24,641	
		(内訳)	国	24,100	20,224	10,440	3,200	24,641	
			府	0	0	0	30,497	0	
			その他	1,470	0	45,167	947	0	
		市負担(D)		489,350	229,280	253,098	191,721	176,702	
		(内訳)	地方債	239,900	81,400	77,200	19,300	33,200	
			その他	200,000	90,268	150,000	0	0	
一般財源	49,450		57,612	25,898	172,421	143,502			
財源計(C+D)		514,920	249,504	308,705	226,365	201,343			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	都市再生機構西日本支社				
				②					
③									
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 都市計画事業等執行率	目標値	(単位:%)	97.03	100.00	/
			実績値	(単位:%)	88.66	100.00	
			達成度(%)		91.4	100.0	
	目標値の積算方法	都市再生機構との負担金協定により算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,814.17	2,271.75	
				一般財源(単位:千円)	649.81	1,732.31	
	②	指標内容 道路整備完了延長	目標値	(単位:%)	77.80	85.90	
実績値			(単位:%)	68.90	79.10		
達成度(%)			88.6	92.1			
目標値の積算方法	道路整備予定延長を算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3,621.25	2,872.00		
			一般財源(単位:千円)	836.17	2,190.03		
(2) 成果指標	①	指標内容 歩道の満足度	目標値	(単位:%)	45.00	45.00	/
			実績値	(単位:%)	31.70	31.70	
			達成度(%)		70.4	70.4	
	目標値の積算方法	道路の整備状況に関する市民意識調査(千里山佐井寺地域)から算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	7,870.79	7,166.40	
				一般財源(単位:千円)	1,817.41	5,464.70	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		千里山駅周辺整備事業では、平成30年度の事業完了を目指し事業進捗中であり、今後駅西側の駅アクセス道路の整備を進め、良好な市街地の形成に努めます。				

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	千里山駅周辺整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00681				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	00681
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

駅周辺の交通環境等の地域課題の解消を目標に事業を進捗中であり、平成28年度には駅東側の交通広場が完成し、駅西側においては、踏切前の歩道整備、街角広場の整備が完了した。引き続き平成30年度の完了を目指し、平成29年度には駅西側の駅アクセス道路等の整備を行う等、事業を進捗していく。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	千里南地区センター再整備事業				
担当部名	土木部	室課名	地域整備推進室	室課長名	福田 徹二

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成19年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	千里南地区センター再整備事業基本計画(案)、南千里駅周辺地区都市再生整備計画													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	13							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	千里南地区センター											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	千里南地区センターの再整備 地区センターとしての都市基盤等の再整備												
(7) 事業概要	千里南地区センター再整備事業は、地域のコミュニティの向上、駅を中心とする交通利便性の向上を目標に、交通広場、公共公益施設、公共広場等の都市基盤の再整備を行います。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	05	目	10	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		158,679	24,303	174,692	18,112	227,953							
	人件費	職員数	人	2.00	1.70	1.50	0.00	2.00						
		総額(B)	千円	16,704	13,667	12,255	0	16,104						
	総事業費(A+B)		175,383	37,970	186,947	18,112	244,057							
	特定財源(C)		48,000	11,520	44,800	10,759	29,280							
	(内訳)	国	48,000	11,520	44,800	10,759	29,280							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		127,383	26,450	142,147	7,353	214,777							
	(内訳)	地方債	64,800	6,900	60,400	0	39,500							
		その他	40,000	0	60,000	0	0							
一般財源		22,583	19,550	21,747	7,353	175,277								
財源計(C+D)		175,383	37,970	186,947	18,112	244,057								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 全体事業費に対する執行业務費の割合	目標値	(単位:%)	72.53	73.12	81.45
			実績値	(単位:%)	71.38	74.02	
			達成度(%)		98.4	101.2	
	目標値の積算方法 当該年度までの執行予定事業費累計/総事業予定費	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		531.94	244.69	
			一般財源(単位:千円)		273.89	99.34	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
①	活動内容				目標		
	②	成果内容	公共広場の整備工事に着手			達成状況	公共広場の整備工事に関しては、工程の見直しにより、平成29年度に完成予定
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>千里南地区センター再整備事業は、千里ニュータウンの南の玄関口である南千里駅を中心とした地区センターが、開発から50年以上経過し、駅前機能の経年化が進み、様々な市民ニーズへの対応が課題となっている。</p> <p>このため、「魅力あふれるにぎわいのあるまち」を目標に、平成21年度から平成25年度にかけて、駅西側の再整備である都市再生整備計画の第1期事業を完了した。引き続き、平成27年度から平成31年度の5か年で都市再生整備計画の第2期事業で駅東側の再整備を進めている。</p>				

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	千里南地区センター再整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00699				

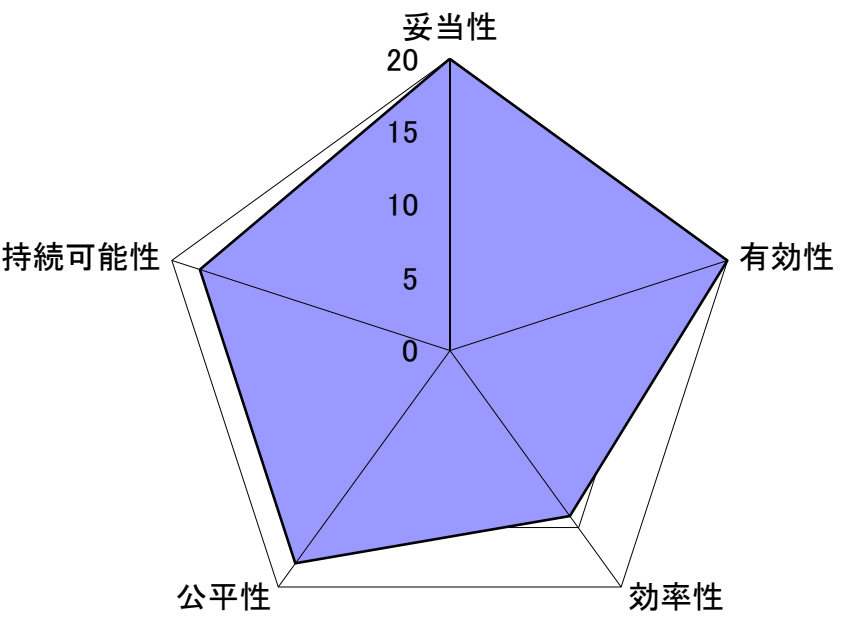
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		⑤活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	00699
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>駅を中心とした交通利便性の向上、地域コミュニティの活性化等を目標に事業を進捗中であり、平成28年度には、駅前公共広場の整備に着手した。引き続き、平成31年度の完了を目指し、平成29年度には公共広場及び佐竹台デッキの整備を進める等、事業を進捗していく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	都市計画道路南吹田駅前線立体交差事業				
担当部名	土木部	室課名	地域整備推進室	室課長名	福田 徹二

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成18年度	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	都市計画法、道路法、交通バリアフリー法、道路と鉄道との交差に関する協議等に係る要綱													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	50							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	都市計画道路南吹田駅前線の未整備区間約390m、駅前交通広場												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	大阪外環状鉄道(おおさか東線)の新駅の開業に合わせて平成30年度末までに整備を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	南吹田地域の道路交通の安全確保、おおさか東線新駅のアクセス道路、都市計画道路のネットワークの形成を図る。													
(7)	事業概要	南吹田地域における、おおさか東線新駅のアクセス道路や、南吹田地域の道路交通の安全確保とその円滑化によって市街化の促進を図るとともに、都市計画道路ネットワークの形成を推進する。また、新駅の開業に合わせて駅前交通広場を整備する。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	05	目	12	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,202,044	1,951,041	2,231,029	1,956,798	1,932,334							
		人件費	職員数	人	4.10	4.10	5.00	5.00	5.00						
			総額(B)	千円	34,244	32,960	40,850	39,500	40,260						
		総事業費(A+B)		2,236,288	1,984,001	2,271,879	1,996,298	1,972,594							
		特定財源(C)		676,790	822,541	582,255	364,804	294,771							
		(内訳)	国	676,790	822,541	580,800	361,350	287,430							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	1,455	3,454	7,341							
		市負担(D)		1,559,498	1,161,460	1,689,624	1,631,494	1,677,823							
		(内訳)	地方債	498,300	605,600	427,600	266,000	211,600							
			その他	1,020,000	0	1,220,000	780,000	340,000							
一般財源	41,198		555,860	42,024	585,494	1,126,223									
財源計(C+D)		2,236,288	1,984,001	2,271,879	1,996,298	1,972,594									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	西日本旅客鉄道株式会社										
				②											
				③											
		主な委託内容		JR東海道本線軌道下の道路新設工事											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 西日本旅客鉄道株式会社と平成24年度に基本協定を締結しJR東海道本線軌道下(約90m)の工事を行い平成30年度末完成	目標値	(単位:千円)	1,498,574.00	1,587,082.00	1,200,256.00
			実績値	(単位:千円)	1,498,574.00	1,587,082.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法 平成24年度～平成30年度の7か年で工事を完成させる。年度協定金額の出来高比で評価する。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.32	1.26	
			一般財源(単位:千円)		0.37	0.37	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容	・JR東海道線軌道下(約90m)の工事の進行を管理する。			目標	平成30年度末までに事業を完成させる。	
	②	成果内容	・JR軌道下(約90m)の工事進行管理を行った。			達成状況	JR東海道線軌道下の平成28年度末での出来高は66.3%(53億円/80億円)
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		南吹田地域での、おおさか東線新駅開業事業と連携を図り、都市計画道路南吹田駅前線立体交差事業の平成30年度末の完成を目標に、計画的に事業を継続する。				

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	都市計画道路南吹田駅前線立体交差事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01034				

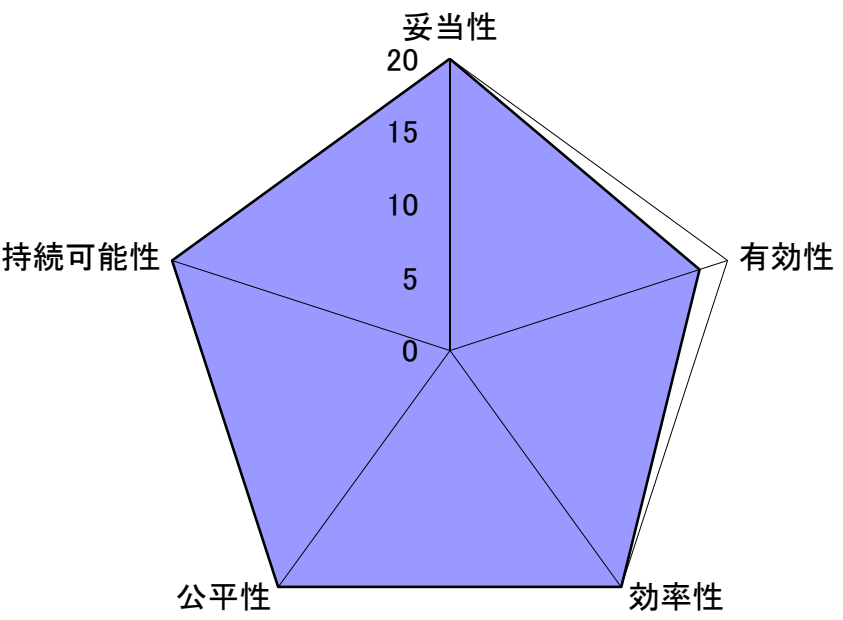
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	01034
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>南吹田駅地域では、都市計画道路十三高槻線の阪急千里線との立体交差も完成した。また、大阪外環状鉄道(おおさか東線)の事業が進捗しており、新駅の開業に向けて、アクセス道路の整備、南吹田地域の道路交通の円滑化のため、本線の整備の必要性が高まっている。また、市民の関心も高まっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	都市計画道路千里山佐井寺線道路新設事業				
担当部署	土木部	室課名	地域整備推進室	室課長名	福田 徹二

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成16年度	改正内容	なし				
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等	都市計画法、道路法、住宅市街地総合整備事業制度要綱						
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章 06	安全で魅力的なまちづくり	節 02	細節 50			
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他		
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	都市計画道路千里山佐井寺線 松が丘工区 延長405m 幅員12m				
	結果 (どのような効果が得られるのか)	平成28年度末完成を目標に、千里山・佐井寺地域の骨格となる都市計画道路を整備し、円滑な交通の確保、豊かな公共空間を備えた良好な市街地形成を図る。 千里山駅周辺への円滑なアクセス動線の確保 地域間の道路ネットワークの充実					
(7) 事業概要	<p>国の社会資本総合整備計画「吹田市千里山地区において都市再生機構の建替えと都市基盤施設を総合的・一体的に整備」に基づく、千里山地区住宅市街地総合整備事業における関連公共施設整備として、都市計画道路千里山佐井寺線松が丘工区を千里山駅周辺地域へのアクセス道路として整備する。 都市計画道路千里山佐井寺線 延長405m 幅員12m</p>						
(8) H28事業別予算コード	会計 01	款 08	項 05	目 13	大事業 01	中事業 01	小事業 01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		197,049	129,503	523,684	231,735	100,401
	人件費	職員数	3.50	3.50	3.00	3.00	3.00
		総額(B)	29,232	28,137	24,510	23,700	24,156
	総事業費(A+B)		226,281	157,640	548,194	255,435	124,557
	特定財源(C)		25,350	22,598	43,842	95,718	0
	(内訳)	国	25,200	22,598	43,725	95,718	0
		府	0	0	0	0	0
		その他	150	0	117	0	0
	市負担(D)		200,931	135,042	504,352	159,717	124,557
	(内訳)	地方債	22,600	16,600	32,100	70,400	0
		その他	140,000	2,831	440,000	0	100,000
一般財源		38,331	115,611	32,252	89,317	24,557	
財源計(C+D)		226,281	157,640	548,194	255,435	124,557	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
			②				
			③				
	主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
		②					
		③					
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 特別会計で保有する事業用地を一般会計で再取得するとともに、隅切用地等を一般会計で取得する	目標値	(単位:㎡)	13.42	352.02	3.89
			実績値	(単位:㎡)	13.42	352.02	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	地権者への補償費支払済の用地面積+隅切用地面積	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	11,746.65	727.93	
				一般財源(単位:千円)	8,614.83	256.03	
	②	指標内容 【平成27年度まで】道路造成工事完成 【平成28年度】電線共同溝及び街路築造工並びに舗装及び植栽工事完成	目標値	(単位:%)	57.40	100.00	100.00
			実績値	(単位:%)	57.40	73.88	
			達成度(%)		100.0	73.9	
	目標値の積算方法	供用開始に向けた工事の進捗率 【平成28年度】100% 【平成29年度】100%	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,746.34	3,468.39	
				一般財源(単位:千円)	2,014.13	1,219.91	
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容		目標			
	②	成果内容	平成28年度については特別会計で保有する土地を全て取得するとともに、平成27年度から着手している電線共同溝及び街路築造工事等については工事を進めております。	達成状況	電線共同溝及び街路築造工事の工事の約70%が完成しております。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		供用開始に必要な工事については平成29年度末完成を目標に、計画的に事業を継続する。				

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	都市計画道路千里山佐井寺線道路新設事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01035				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	01035
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>都市再生機構による千里山団地の建替えに合わせて、千里山駅周辺整備事業として施行していた阪急千里山駅東側の都市基盤施設が完成したことから、千里山駅周辺への円滑なアクセス動線確保のため、本路線の早期完成の必要性が高まっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	都市計画道路岸部中千里丘線道路新設事業				
担当部名	土木部	室課名	地域整備推進室	室課長名	福田 徹二

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成25年度	改正内容	なし				
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等	都市計画法、道路法、バリアフリー新法						
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章 06	安全で魅力的なまちづくり	節 02	細節 50			
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他				
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	都市計画道路岸部中千里丘線L=550m W=18.5m				
	結果(どのような効果が得られるのか)	吹田操車場跡地へのアクセス利便性の向上。安全で快適な都市活動と都市生活の確保。都市計画道路ネットワークの充実					
(7) 事業概要	北大阪健康医療都市まちづくりにおいて、新たなアクセス道路として位置づけられ、本路線が整備されることにより、操車場跡地から新たな都市拠点への土地利用転換が促進され、「緑と水につつまれた健康・教育創生拠点」の創出を基本とし、周辺地域にも寄与する魅力的で個性ある近未来のまちづくり実現に貢献する。						
(8) H28事業別予算コード	会計 01	款 08	項 05	目 14	大事業 01	中事業 01	小事業 01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		670,025	170,440	1,253,131	349,507	2,073,021
	人件費	職員数	3.20	3.20	4.00	4.00	4.00
		総額(B)	26,727	25,725	32,680	31,600	32,208
	総事業費(A+B)		696,752	196,165	1,285,811	381,107	2,105,229
	特定財源(C)		146,190	25,655	66,607	62,000	118,204
	(内訳)	国	146,190	24,365	54,364	55,000	78,650
		府	0	0	0	0	0
		その他	0	1,290	12,243	7,000	39,554
	市負担(D)		550,562	170,510	1,219,204	319,107	1,987,025
	(内訳)	地方債	107,600	17,900	40,000	40,500	57,900
		その他	410,000	21,067	1,140,000	0	1,890,000
一般財源		32,962	131,543	39,204	278,607	39,125	
財源計(C+D)		696,752	196,165	1,285,811	381,107	2,105,229	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
			②				
			③				
	主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
		②					
		③					
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 特別会計で保有する事業用地を一般会計で再取得する。	目標値	(単位:㎡)	375.00	2,735.00	0.00
			実績値	(単位:㎡)	375.00	0.00	
			達成度(%)		100.0	0.0	
	②	目標値の積算方法 地権者への補償金支払済みの用地面積	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	523.11	0.00	
				一般財源(単位:千円)	350.78	0.00	
			目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	②	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
			目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
(3) が困難な場合	①	活動内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	②	成果内容	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
			目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
の3が困難な場合	①	活動内容			目標	平成30年度末までに事業を完成させる。	
	②	成果内容	平成30年度末の事業完成に向けて、関係機関との協議、及び本路線に埋設を行う摂津市下水道部、水道部、本市水道部、下水道部との調整を行う。		達成状況	平成30年度末までに関係機関との協議を終えて事業を完成させる。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		北大阪健康医療都市まちづくり事業との連携を図り、都市計画道路岸部中千里丘線の早期完成を目標に、計画的な事業実施を継続する。				

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	都市計画道路岸部中千里丘線道路新設事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01036				

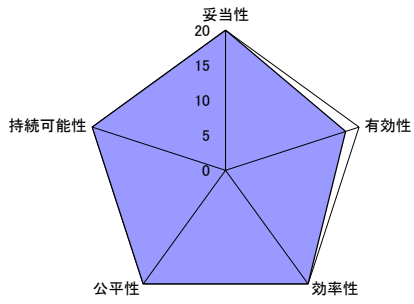
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	01036
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>北大阪健康医療都市のまちづくりは、主要な施策に位置付けられており、そのアクセス道路として機能する都市計画道路岸部中千里丘線も重要な位置付けとなるため、重点的に進める必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成28年度の要望に対しても、社会資本整備総合交付金の内定が要望額に対して一割しか国費がつかなかった。今後、財源確保対策が必要であると思われる。

事務事業評価調書

事務事業名	公債費償還事業(公共用地先行取得特別会計・元金)				
担当部名	土木部	室課名	地域整備推進室	室課長名	福田 徹二

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成25年度	改正 内容	公共用地先行取得事業を目的に、公共用地先行取得特別会計を設置。											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市特別会計条例(及び 公有地の拡大の推進に関する法律)													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	50							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	土地開発基金借入金の元金											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	公共用地先行取得特別会計で土地を先行取得していることから、一般会計で再取得する際に、一般会計の歳入として国庫補助金を充当することができる。												
(7) 事業概要	公共用地先行取得特別会計で土地を先行取得する際に借り入れた土地開発基金の元金を、後年度に一般会計で再取得する際に償還するものである。なお、元金償還の財源については、不動産売払収入を充当するものであるが、一般会計での再取得の際に国庫補助金を受けることが可能となる。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	14	款	01	項	01	目	01	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		475,857	117,110	616,572	257,825	358,746							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		総額(B)	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費(A+B)		475,857	117,110	616,572	257,825	358,746							
	特定財源(C)		475,857	117,110	616,572	257,825	358,746							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		475,857	117,110	616,572	257,825	358,746						
	市負担(D)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		475,857	117,110	616,572	257,825	358,746								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 一般会計で土地を再取得し、元金を償還する。	目標値	(単位:m ²)	2,626.48	3,245.99	1,878.24
			実績値	(単位:m ²)	748.24	1,392.98	/
		達成度(%)		28.5	42.9		
	目標値の積算方法 一般会計で再取得予定面積	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	156.51	185.09		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) 困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標		
	②	成果内容	元金の償還であるため、活動指標と成果指標は同一になる。			達成状況	適切な時期に、一般会計で土地を再取得することにより、適正な事業実施ができています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		公共用地先行取得特別会計で先行取得した土地を、後年度に一般会計で再取得するにあたっては、一般会計での予算額及び国庫補助金の内示額に応じて再取得することが可能となることから、一般会計において、効率的な国庫補助金を受けることが可能となる。このため、財源確保を目的とした本事業は、継続していく必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	公債費償還事業(公共用地先行取得特別会計・元金)	事業区分	内部管理
事務事業番号	01039				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	97	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	01039
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業は、吹田市土地開発公社の解散に伴い、用地取得にかかる国庫補助金を効率的に収受するために設けた用地取得事業(公共用地先行取得事業)の財源として借り入れた基金等の元金を償還するものである。本事業を実施することにより、用地先行取得にかかる財源については、吹田市土地開発基金等からの借入れを可能にするとともに、償還時に、効率的に国庫補助金を収受することができ、財源の確保につながる。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (top, 20), 有効性 (right, 15), 効率性 (bottom-right, 10), 公平性 (bottom-left, 5), and 持続可能性 (left, 5). The scale ranges from 0 to 20.</p>		
(3)現状分析	<p>公共用地先行取得特別会計で先行取得した土地を一般会計で再取得する際の国庫補助金の内示額が要望額に満たない場合であっても、公共用地先行取得特別会計で用地を保有することが可能となり、内示額にあわせて、一般会計で用地を再取得することができ、一般会計で実施している各道路新設事業で、効率的に国庫補助金を収受することができ、効率的な財源確保を行うことが可能となる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	公債費償還事業(公共用地先行取得特別会計・利子)				
担当部名	土木部	室課名	地域整備推進室	室課長名	福田 徹二

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成25年度	改正内容	公共用地先行取得事業を目的に、公共用地先行取得特別会計を設置。											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市特別会計条例(及び 公有地の拡大の推進に関する法律)													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	50							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	土地開発基金借入金の利子											
	結果(どのような効果が得られるのか)	土地開発基金借入に伴う利子を支出することとなるが、公債費償還事業(公共用地先行取得特別会計・元金)において、土地開発基金借入金の元金を償還する際に、一般会計の歳入として国庫補助金を充当することができる。												
(7) 事業概要	公共用地先行取得特別会計で土地を先行取得する際に借り入れた土地開発基金の元金を償還する際にあわせて、借入に伴い生じた利子を償還するものである。なお、利子償還の財源については、不動産売払収入を充当するものであるが、一般会計での再取得の際に、国庫補助金を受けることが可能となる。													
(8) H28事業別予算コード	会計	14	款	01	項	01	目	02	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		4,785	79	3,720	203	1,679							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		総額(B)	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費(A+B)		4,785	79	3,720	203	1,679							
	特定財源(C)		4,785	79	3,720	203	1,679							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		4,785	79	3,720	203	1,679						
	市負担(D)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0								
一般財源		0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		4,785	79	3,720	203	1,679								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 一般会計で土地を再取得する際に、利息を償還する。	目標値	(単位:m ²)	2,626.48	3,245.99	1,878.24
			実績値	(単位:m ²)	748.24	1,392.98	/
		達成度(%)		28.5	42.9		
	目標値の積算方法 一般会計で再取得予定面積	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.11	0.15		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標		
	②	成果内容	利息の償還であるため、活動指標と成果指標は同一になる。			達成状況	適切な時期に、一般会計で土地を再取得することにより、適正な事業実施ができています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		公共用地先行取得特別会計で先行取得した土地を、後年度に再取得することから、土地開発金借入に伴う利息を支出することとなるが、再取得にあたっては、一般会計での予算額及び国庫補助金の内示額に応じた再取得することが可能となることから、一般会計において、効率的な国庫補助金を受けることが可能となる。 このため、効率的に国庫補助金を受けるために必要な本事業は継続していく必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	公債費償還事業(公共用地先行取得特別会計・利子)	事業区分	内部管理
事務事業番号	01040				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	97	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	01040
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業は、吹田市土地開発公社の解散に伴い、用地取得にかかる国庫補助金を効率的に収受するために設けた用地取得事業(公共用地先行取得事業)の財源として借り入れた基金等の元金を償還するものである。本事業を実施することにより、用地先行取得にかかる財源については、吹田市土地開発基金等からの借入れを可能にするとともに、償還時に、効率的に国庫補助金を収受することができ、財源の確保につながる。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	□	☑	□												
	主要な政策課題としての取組	部として重点的な取組	その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>公共用地先行取得特別会計で先行取得した土地を一般会計で再取得する際の国庫補助金の内示額が要望額に満たない場合であっても、公共用地先行取得特別会計で用地を保有することが可能となり、内示額にあわせて、一般会計で用地を再取得することができ、一般会計で実施している各道路新設事業で、効率的に国庫補助金を収受することができ、効率的な財源確保を行うことが可能となる。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	岸部中千里丘線用地取得事業(公共用地先行取得特別会計)				
担当部署	土木部	室課名	地域整備推進室	室課長名	福田 徹二

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成26年度	改正 内容	なし																	
(2) 直近の改正	なし																			
(3) 根拠法令等	都市計画法、道路法、公有地の拡大の推進に関する法律、吹田市土地開発基金条例																			
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)																	
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	50													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他															
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	都市計画道路岸部中千里丘線道路新設事業において、買収が必要な事業用地。																	
	結果 (どのような効果が得られるのか)	都市計画道路岸部中千里丘線道路新設事業において、事業(工事)着手時までに必要な事業用地の先行取得を行う。 特別会計で先行取得を行い、後年度買い戻す際、一般会計で予算化した時に国の交付金等を受け財源確保することが可能となる。																		
(7) 事業概要	都市計画道路岸部中千里丘線を平成29年度末までに整備するため、買収が必要な事業用地を事業(工事)着手時までに先行取得するものです。 都市計画道路岸部中千里丘線道路新設事業 L=550m、W=18.5m																			
(8) H28事業別 予算コード	会計	14	款	99	項	99	目	98	大	事	業	99	中	事	業	99	小	事	業	99
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		669,925	185,584	0	0	210,481													
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00												
		総額(B)	千円	0	0	0	0	0												
	総事業費(A+B)		669,925	185,584	0	0	210,481													
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0												
		国		0	0	0	0	0												
		府		0	0	0	0	0												
	その他		0	0	0	0	0	0												
	(内訳)	市負担(D)		669,925	185,584	0	0	210,481												
		地方債		0	0	0	0	0												
その他		669,925	185,584	0	0	210,481														
一般財源		0	0	0	0	0	0													
財源計(C+D)		669,925	185,584	0	0	210,481														
(10) (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①																	
			②																	
	主な委託内容																			
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①																		
		②																		
		③																		
<input type="checkbox"/> その他	内容																			

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 平成27年度末までに用地取得を完了した。	目標値	(単位:㎡)	4,498.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:㎡)	4,498.00	0.00	/
		達成度(%)		100.0	0.0		
	目標値の積算方法 必要な事業用地 約7,068㎡ 平成27年度までの先行取得用地 7068㎡ 残り0㎡	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	41.26	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容	岸部中千里丘線道路新設事業に伴い、地権者と交渉を行い、事業用地の先行取得を行う。			目標	平成29年度末までに用地取得を完了する。	
	②	成果内容	特別会計で先行取得を行うことによって、後年度の買戻しに際し、国の交付金等を受けて財源確保が可能となる。			達成状況	国庫補助金を要望。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得に係る国の交付金を効率的に受け、財源を確保するために、本事業は行ってきた。 ・岸部中千里丘線の事業用地については、すべての用地取得が完了したため、本事業は廃止する。 				

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	岸部中千里丘線用地取得事業(公共用地先行取得特別会計)	事業区分	建設事業
事務事業番号	01041				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	01041
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市土地開発公社の解散に伴い、平成24年度から用地取得を直営で実施することとなり、用地取得に係る国の交付金等を効率的に収受するため、この事業を立ち上げたものである。 本事業でストックした先行取得用地を交付金の内示額に合わせて買い戻すことで、道路新設事業での効率的な財源確保ができる。また、先行取得の財源についても、起債ではなく吹田市土地開発基金からの借入れを行い、金利負担の軽減を図る。 しかし、国の交付金も近年、内示率が低く、また土地開発基金も底をつきかけていることから、当初のスキームの見直しの検討が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

本事業の財源である国の社会資本整備総合交付金の確保が、年々難しくなっている。

事務事業評価調書

事務事業名	都市計画道路佐井寺片山高浜線道路新設事業				
担当部名	土木部	室課名	地域整備推進室	室課長名	福田 徹二

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成16年度	改正内容	なし					
(2) 直近の改正	なし							
(3) 根拠法令等	都市計画法、道路法、交通バリアフリー法							
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	50	
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
	範囲等	都市計画道路佐井寺片山高浜線の未整備区間約1, 140m						
	目標 (どうい状態にしたいのか)	市域の南北交通の確保、豊かな公共空間を備えた良好な市街地形成、都市計画道路のネットワーク形成を図る。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市域の南北交通を確保するとともに、都市計画道路のネットワークの形成を推進する。						
(7) 事業概要	本路線は旧市街地とニュータウンを結ぶ道路であり、市域の南北交通を確保する主要な幹線道路を整備する。							
(8) H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		0	0	0	0	0	
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		総額(B)	千円	0	0	0	0	0
	総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
	特定財源(C)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	国		0	0	0	0	0
		府		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0		
(10) (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
			②					
			③					
	主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/	
		達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/	
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/	
		達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/	
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	事業実施に向けた調査・検討。			目標	平成30年度からの調査・設計の着手を目指す。	
	②	成果内容	整備予定区間の用地取得。			達成状況	平成29年度は予算要求していないため、達成状況に変化なし。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		本路線は旧市街地とニュータウンを結ぶ主要な幹線道路であり、利用者の最短経路での走行時間の短縮、走行経費の削減、安心安全なみちづくりによる交通事故の減少が図られる。また、生活道路への通過交通の流入を防止するとともに地域間ネットワークが形成される。 平成30年度より、新規事業の佐井寺西土地区画整理事業に編入し、本事業は廃止する。					

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	都市計画道路佐井寺片山高浜線道路新設事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01319				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	01319
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>旧市街地と千里ニュータウンを結ぶ路線であり、市域の南北交通を確保するため本路線の整備の必要性は高く、また、市民の関心も高い。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成29年度までは予算要求は行わず、関係機関との協議を行う。
平成30年度からの調査・設計の着手を目指す。

事務事業評価調書

事務事業名	都市計画道路維持管理事業				
担当部名	土木部	室課名	地域整備推進室	室課長名	福田 徹二

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成26年度	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	都市計画法、道路法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	50							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	都市計画道路事業用地(未事業化路線)												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	都市計画道路事業用地の健全な維持管理												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	周辺生活環境の保全、事故や不法占用等の防止													
(7)	事業概要	都市計画事業認可を受ける以前に都市計画道路事業予定地として取得した用地を事業実施までの期間、適正に維持管理する。 ・用地杭設置、除草等委託業務 ・フェンス設置等維持管理工事													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	05	目	03	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		360	3,996	360	0	360							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	1.00	0.00	1.00						
			総額(B)	千円	836	804	8,170	0	8,052						
		総事業費(A+B)		1,196	4,800	8,530	0	8,412							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		1,196	4,800	8,530	0	8,412							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			1,196	4,800	8,530	0	8,412								
財源計(C+D)		1,196	4,800	8,530	0	8,412									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他		内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) の3が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
①	活動内容	都市計画事業認可を受ける前に取得した事業用地を、事業実施までの間、適正に維持管理を行う。			目標	事業予定地を適正に維持管理することで周辺生活環境の保全や事故及び不法占用等の予防を図る。	
		②	成果内容	都市計画道路事業予定地の維持管理			達成状況
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
	評価の説明		都市計画道路事業としての事業用地であることから、事業実施までの期間、今後も引き続き適正な維持管理を行う必要があります。				

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	都市計画道路維持管理事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01485				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	01485
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>都市計画道路事業は市街地で行われるため、市街化の更なる発展や土地の細分化等により用地取得が困難化し、事業期間の長期化や事業費の増大を招くことがあります。したがって、事業用地の先行取得は事業実施を円滑に進めるために有効な手段です。</p> <p>最近の厳しい財政状況の中では、事業実施時期が未定の路線については積極的な用地先行取得は行っていないものの、開発に伴う帰属や寄付等の理由により、事業用地を取得する場合もあり、これらの事業用地を事業実施までの期間、適正に維持管理を行う必要があります。</p> <p>また、当面事業実施予定のない箇所については、運動広場や貸農園等として土地の有効利用を図るとともに、維持管理のコスト縮減を図っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	都市計画道路南吹田駅前線関連道路整備事業				
担当部名	土木部	室課名	地域整備推進室	室課長名	福田 徹二

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成28年度	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	道路法、交通バリアフリー法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	50							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	おおさか東線高架横断道路、市道南吹田57号線歩道整備ほか南吹田地域の道路網整備												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	大阪外環状鉄道(おおさか東線)の新駅の開業に合わせて平成30年度末までに整備を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	おおさか東線新駅のアクセス確保、南吹田地域の道路交通の安全確保を図る。													
(7)	事業概要	南吹田地域における、おおさか東線新駅のアクセス道路や南吹田地域の道路交通の安全確保とその円滑化によって、市街化の促進を図る。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	05	目	12	大事業	01	中事業	02	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		0	0	70,460	2,426	369,117							
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	2.00	2.00	2.00						
			総額(B)	千円	0	0	16,340	15,800	16,104						
		総事業費(A+B)		0	0	86,800	18,226	385,221							
		特定財源(C)		0	0	0	0	15,675							
		(内訳)	国		0	0	0	0	15,675						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		0	0	86,800	18,226	369,546							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			0	0	86,800	18,226	369,546								
財源計(C+D)		0	0	86,800	18,226	385,221									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 全体事業費に対する執行业務費の割合	目標値	(単位:%)	0.00	2,425.68	369,117.00	
			実績値	(単位:%)	0.00	2,425.68		
			達成度(%)		0.0	100.0		
	目標値の積算方法 当該年度までの執行业務費累計/総事業費	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	1.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	1.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	おおさか東線高架横断道路の整備。 市道南吹田57号線歩道ほかの整備。			達成状況	事業全体として、おおむね年次計画通りに進んでいる。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		南吹田地域での、おおさか東線新駅開業事業や南吹田駅前線立体交差事業と連携を図り、平成30年度末の完成を目標に、計画的に事業を継続する。					

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	都市計画道路南吹田駅前線関連道路整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01643				

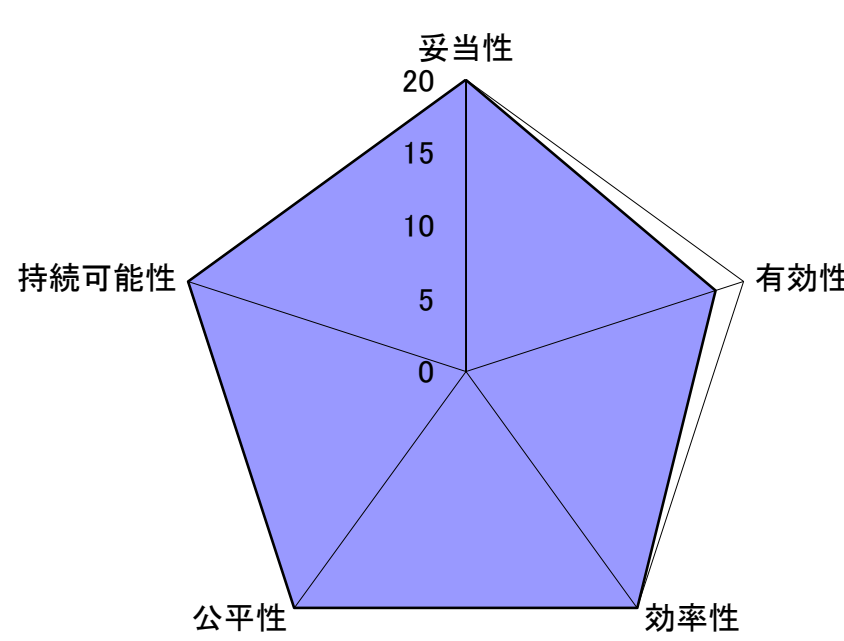
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	01643
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>南吹田駅地域では、都市計画道路十三高槻線の阪急千里線との立体交差も完成した。また、大阪外環状鉄道(おおさか東線)の事業が進捗しており、新駅の開業に向けてアクセス道路の整備や南吹田地域の道路交通の安全確保とその円滑化の必要性が高まっている。また、市民の関心も高まっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)